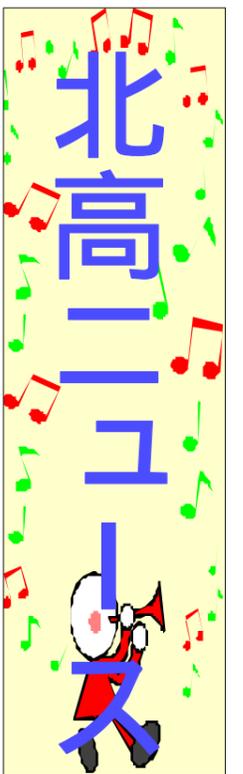


2009

全国高校総合体育大会報告

サッカー部の巻



8月17日(月)
北高新聞
第16号

準優勝

サッカー部全国総合体育大会

初戦レポート



- 1 回戦 水戸商(茨城) 3対0
- 2 回戦 丸岡(福井) 4対0
- 3 回戦 久御山(京都) 2対2
- PK 5対4
- 準々決勝 中津工・東(大分) 2対0
- 準決勝 佐賀東(佐賀) 2対1
- 決勝 前橋育英(群馬) 0対2

サッカー部初戦は茨城県代表の水戸商業高校。当日は大雨洪水警報が近畿地方に出されていた。応援に駆けつけると、雨はおろか、炎天下での決戦となった。目標は全国ベスト8。

前半、開始早々、「入った」と思ったシュートは、ゴールポストに当たったり、キーパーと1対1の絶好のチャンスを外したりと惜しい場面が度々あったが、得点には結びつかず。

後半9分、山本のシュートをキーパーがはじき、谷尾が押し込み、初ゴールを決めた。観客席からは「あと1点入れれば安心」という声があふれてきた。その声に応えてくれたのが山本。

関西出身の彼を支える家族や関係者が大勢来ていた。お母さんは「高校に入ってからは試合試合でちっともうちに帰って来ない。」とおっしゃっていたが、その言葉の裏に成長していく子どもへの応援歌が聞こえるようであった。おばあさまも「私は大稀のおばあさんです。おおきなうって」と笑顔で話されていた。



準決勝レポート

準決勝の舞台は檀原公苑陸上競技場。それまでの...な会場と打って変わってさすがという感じ。米子北高は相手の佐賀東に対し、怒濤のごとく滑り込む。目標としていたベスト8をみごとクリアし、この戦いも勝利を収め、決勝戦へ進出。卒業生なども大勢応援に来てくれていた。



前半、まずは米子北が先制点を決め、決勝へと一歩近づく。写真上は昨年からのレギュラーで活躍している藪田君。その下、監督・主将と握手する保護者ら



2 回戦 福井県丸岡高校も前回と同じ葛城新町公園球技場。だが、月曜日ということもあって前回よりも若干応援は少なかったようだ。前半12分に藪田のシュートが決まり、30分には庫谷が、35分には五百川からのアシストでまたもや藪田が決めた。後半は相手のオウンゴール。1回戦に続き得点を許さなかった。

3 回戦 対戦は京都代表の久御山高校ということもあり、観客数はおよそ4倍に。米子北のキックオフで始まった試合は、試合開始直後、庫谷のアシストから、谷尾がドリブルシュートへ持ち込みゴール。しかし相手も前半27分シュートを決め同点。38分、山本のパスを、藪田がシュートこぼれた玉を、谷尾が決め2対1。後半は1点入れられ同点で終了。PK戦は相手5人目のボールを止め勝利。

準々決勝 中津工・中津東との準々決勝。0対0で前半を折り返し、後半10分、林原からのパスを、谷尾が決める。後半29分には、谷尾からのパスを、山本がドリブルからシュートに持っていった。この時点で県勢初のベスト4となった。



初戦 後半30分 林原のアシストで
山本がループシュートがゴールを揺らす。写真上



インタビューに答える
得点王に輝いた2年の
谷尾君写真左



決勝戦の相手は前橋育英高校。応援団だけみると圧倒的にこちらが優勢。この日から特進コースを中心としたサマースクールが始まり、応援団の顧問「ガキデカ」こと角田先生が応援に来られなかったため残念だが、応援団の窪田君が来てくれていた。先制点を許した後も卒業生から「大丈夫！落ち着いて！焦らずに！もつとサイドを使って！」などと応援が飛び交っていた。この大会で2年生も力をつけているのがわかった。来年にかけても北高サッカー部は活躍してくれるだろう。感動をありがとう！高円宮杯・全国選手権も応援しています！頑張れ北高サッカー部！！